

松浦のり子

月

満ちては欠け  
欠けては満ちる  
頭上の月に

己の憂いを重ねて  
ぼくは  
いったい何を見ていたのだろう

ぼくも  
月も  
宇宙の石ころ

是もなく  
非もなく  
ただ  
在るものとしてあり